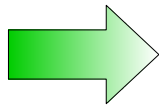
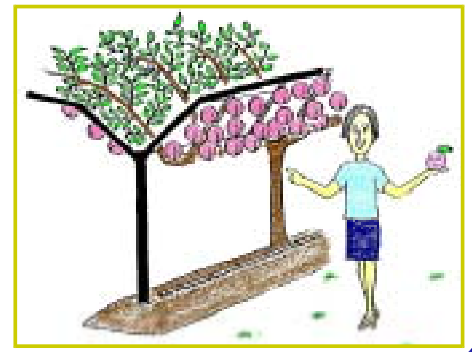


モモ栽培を快適に！「一文字型整枝」

果実や枝の管理が、自然な立ち姿で楽にでき、袋掛けや収穫作業の能率が高まります。脚立に登って行う高所作業がないため、安全で心臓や膝への負担も小さくなります。果実の品質は、従来の整枝法と変わりません。



技術のポイント

栽植間隔は株間6.0m × 条間2.8mとし、着果部位を地上1.4～1.8mの範囲とします。

主枝は2本とし、地上1.4mの高さに水平に誘引します。

新梢の勢力は、摘心と誘引で調節します。新梢の摘心は、新梢長が10～15cmの時点で基部側の5葉を残して切り取ります。なお、主枝基部や主枝の上面から発生する新梢は強勢となりやすいため、必ず摘心して伸長量を調節しましょう。

せん定の際には、新梢基部の葉芽は必ず残すとともに、光が十分に当たるようにして枝の上げ上がりを防ぎましょう。

強勢となりそうな新梢の摘心方法

